

令和 6 年度 事業計画

第 1 事業量確保及び受注条件改善等の取組

1 事業量確保及び受注条件改善の取組

地質調査業は、社会の「インフラのインフラ」としてその貢献度は益々高まりを見せています。

しかし、これからも災害発生時に県等の出動要請に即応するとともに、中長期的に担い手を確保・育成して、「業」を維持、発展させて行くには事業量の安定的、継続的な確保が必要となっています。

また、一層、安全かつ経済的なインフラの整備や維持管理には、「地質リスク」を適切に把握し、「地質リスクマネジメント」を徹底することが不可欠であります。

協会では様々な機会を捉え、関係者へ事業量の安定的な確保などを要望するとともに、インフラ整備における地質調査の重要性をアピールし、「地質リスクマネジメント」の必要性、有効性の浸透を図り、「業」の発展に取り組んでいきます。

- (1) 北陸地方整備局、新潟県との意見交換会における要望、情報提供
- (2) 新潟県予算に対する施策的要望(自由民主党)
- (3) 地質リスク事例の収集及び『事例集』の作成、講習会開催や資料配布を通じた関係者への「地質リスクマネジメント」の理解促進
- (4) 点検業務への会員の積極的活用に向けた要望
- (5) 全地連主催「道路防災点検技術講習会」への開催協力

2 コンプライアンス向上の取組

受注者として企業倫理及び技術者倫理の一層の向上を図るため、企業倫理及び技術者倫理に関する研修会を継続的に開催します。

第 2 公益事業活動の推進

1 県民への広報、情報提供

県民に対し協会ホームページなどの活用により、「地質調査」の目的や必要性を分かりやすく情報提供し、地質や地盤への関心向上に努めます。

ア 協会ホームページへの地質、地盤に係る情報の掲載

イ 小学校での出前授業、高等学校での地質調査実習授業、大学での業界説明会への参加

ウ 業界紹介パンフ『地質エンジニアになりませんか』による広報

エ 業界紙等への広告掲載

2 関係機関への情報提供

国や県など関係機関に対し、全地連発行の機関誌『地質と調査』や各種「リーフレット」等の参考資料を配付し、最新の地質調査技術や「地質調査業」の動きについて情報提供します。

3 災害時応援体制の推進

協会内部の災害時応援連絡体制を確立するとともに、北陸地方整備局、新潟県及び市町村からの災害時応援要請への迅速な対応に努めます。

併せて、新潟市や糸魚川市など災害応援協定締結団体、建設コンサルタント協会等の防災訓練に参加協力し災害発生に備えます。

4 技術研修会等への講師派遣

北陸地方整備局、新潟県及び関係団体からの研修会講師派遣依頼に対して積極的に派遣対応します。

ア けんせつセミナー

イ 新潟県土木部職員研修、地域機関職場研修

ウ インフラメンテナンス講習会

5 対外科学技術協力

北東アジア諸国からの科学技術協力要請に応えるとともに、関連団体を通じ技術交流を図ります。

第3 技術力の向上

1 研修会、講習会の開催及び開催協力

技術者のニーズの高い研修会、講習会等の開催や開催協力を通じて会員社員の技術力等の向上に努めます。

ア 新潟県技術伝承講習会

イ 北陸技術フォーラム

ウ 北陸3県の地形地質伝承プロジェクト

エ 全地連「技術フォーラム2024」新潟

オ 道路防災点検技術講習会(金沢)【再掲】

カ 建設技術報告会、けんせつフェア北陸

キ 技術者倫理に関する研修会【再掲】

2 関係団体、学会との協力

技術士会、地盤工学会、応用地質学会及び地すべり学会等の関係団体並びに北陸地方整備局及び新潟県が開催する研修会、講演会等について共催、後援等を行うとともに、会員社員へ参加を呼び掛け、技術力向上を図ります。

3 資格取得の促進

(1) 地質調査技士等の資格取得促進

地質調査技士及び地質情報管理士の資格検定試験事前講習会の開催

に協力するとともに、会員社員の受講料を助成し資格取得を促進します。
また、地質調査技士登録更新講習会の開催に協力し、登録更新を促進します。

(2) 関連資格の取得促進

技術士試験講習会について会員社員の受講料を助成し、資格取得を促進します。

また、応用地形判読士及び地質リスクエンジニアの資格検定試験について会員社員へ案内し資格取得を促進します。

第4 担い手の確保・育成

1 教育機関と連携した取組【再掲】

教育機関の協力を得て、出前授業など年代に応じた形式により地質調査の目的や重要性等を伝え、将来の担い手確保に取り組めます。

- ・ 小学校での出前授業
- ・ 高等学校での地質調査実習授業
- ・ 大学での業界説明会への参加 など

2 他団体と連携した取組、広報

「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会(新潟県部会)」の構成団体として他団体と連携し、担い手の確保・育成の取組を推進します。

地質調査の重要性等を業界紹介パンフ『地質エンジニアになりませんか』や協会ホームページの活用などにより幅広く広報します。【再掲】

3 ワークライフバランスの促進

女性技術者や若手技術者が、「地質調査業」に魅力や働きがいを感じられる職場を目指して取組を進めます。

- ア 北陸地方整備局、新潟県との意見交換会における要望【再掲】
- イ 協会全体でのノー残業デーの実施
- ウ 若手・ベテラン社員合同ワークショップ
- エ 働き方改革関連の講習会等の開催

第5 福利厚生事業の推進

会員及び会員社員の親睦、交流を図るため会報誌を発行するとともに、各種福利厚生事業を実施します。

- ア 会報誌「地協にゆうす」の発行
- イ ゴルフ大会の開催
- ウ ボウリング大会の開催
- エ 新春講演会、名刺交換会の開催
- オ ボランティア活動の実施(心肺蘇生法講習会等)
- カ 全地連「技術フォーラム 2024」新潟の開催協力

令和 5 年度 事業計画及び事業報告

第 1 事業量確保及び受注条件改善等の取組

1 事業量確保及び受注条件改善の取組

地質調査業は、社会の「インフラのインフラ」としてその貢献度は益々高まりを見せしていますが、一層の安全かつ経済的なインフラの整備や維持管理には「地質リスクマネジメント」が欠かせません。

協会では、様々な機会を捉え、関係者へ安定的な事業量の確保などを要望するとともに、「地質リスクマネジメント」の必要性、有効性の浸透に努め、「業」の継続的な発展に取り組みました。

(1) 北陸地方整備局、新潟県との意見交換会における要望、情報提供

231026 北陸地方整備局との意見交換会

出席者 整備局 信太企画部長他 9 名 協会 平野理事長ほか 23 名

議 題

- 1 働き方改革・担い手確保に関する事項
- 2 入札・積算に関する事項
- 3 業務遂行に関する事項
- 4 北陸地質調査業協会からの情報提供
(ボーリングマシン稼働状況、担い手確保・育成、地質リスク事例集の作成、BIM/CIMに係る取組)

231121 新潟県土木部長と意見交換

出席者 県 深田土木部長 協会 平野理事長ほか

240205 新潟県との意見交換会

出席者 県 高橋土木部技監他 6 名 協会 平野理事長ほか 19 名

議 題

- 1 生産性向上に関する事項
 - 2 入札契約に関する事項
 - 3 業務遂行に関する事項
 - 4 歩掛に関する事項
 - 5 話題提供(ボーリングマシン稼働状況、地質リスク事例集の作成)
- 240126 県砂防課との「地すべり観測」に係る意見交換(総務厚生委員長)

(2) 新潟県予算に対する施策的要望(自由民主党)

230630 令和 6 年度県予算に対する自民党への政策要望の提出

- 1 県土の土地・地盤に関わる地形・地質等の情報の保全と利活用に向けた条例の設置について
- 2 公共土木事業の地質リスクの回避、低減に向けた地質調査技術の活用と

的確な地質調査の実施について

- 3 既存施設の点検業務における地質調査業者の積極的活用について
- 4 地質、地盤に伴う被害減少に向けた対策事業の推進について

(3) 地質リスク事例の収集、講習会開催や参考資料配布を通じた、関係者への地質リスクマネジメントの理解促進

231026 北陸地方整備局、240205 新潟県との意見交換会において地質リスクマネジメントの必要性について改めて理解を求め、協力を依頼するとともに、各会員へ地質リスク事例の提供を依頼する。

(4) 点検業務への会員の積極的活用に向けた要望

【再掲】令和 6 年度県予算に対する自民党への政策要望の提出

(5) 全地連主催「道路防災点検技術講習会」への開催協力

全地連へ 240705、金沢市での開催を申し込む。

2 コンプライアンス向上の取組

受注者として企業倫理等の一層の向上を図るため、企業倫理に関する研修会を開催しました。

231109 令和 5 年度コンプライアンス研修会

講師 公正取引委員会職員

参加者 42 名 (ほかに石川支部・富山支部から W E B 参加あり)

第 2 公益事業活動の推進

1 県民への広報、情報提供

県民に対し協会ホームページなどの活用により、「地質調査」の目的や必要性を分かりやすく情報提供し、地質や地盤への関心向上に努めました。

ア 協会ホームページへの地質、地盤に係る情報の掲載

イ 小学校での出前授業、高等学校での地質調査実習授業、大学での

業界説明会への参加

230831 県立新発田南高校地質調査実習授業

(令和 5 年度国土交通省学校キャラバン)

対象 土木工学科 3 年生 40 人

内容 『見えない地中を分析・診断』地質調査 サウンディング体験
国交省本省、北陸地方整備局ホームページでも周知されるとともに
(一社)建設業振興基金の機関誌『建設業しんこう』にも掲載されました。

231204 小学校への出前授業

新潟市立大形小学校(新潟市東区大形本町)

6 年生 4 クラス 120 人

NHK の取材があり、当日の授業の様子がニュースで放送されました。

- ウ 業界紹介パンフ『地質エンジニアになりませんか』による広報
【再掲】県立新発田南高校地質調査実習授業で配布
- エ 業界紙等への広告掲載
建設関係新聞社 6 紙へ、夏季及び年始など延べ 14 回、広告を掲載し、新潟県地質調査協会について浸透を図りました。
- 2 関係機関への情報提供
整備局や県の関係部署へ、全地連発行の機関誌『地質と調査』通巻第 161 号及び第 162 号を配布し、最新の地質調査技術や「地質調査業」の動きについて情報提供しました。
- 3 災害時応援体制の推進
協会内部の災害時応援連絡体制を確立するとともに、北陸地方整備局、新潟県及び市町村からの災害時応援要請への迅速な対応に努めました。
併せて、新潟市や糸魚川市など災害応援協定締結団体、建設コンサルタンツ協会等の防災訓練に参加しました。
- 240101 県砂防課との能登半島地震に伴う緊急点検に係る打合せ
(技術委員長)
- 240102 能登半島地震に伴う土砂災害警戒区域緊急点検調査に係る打合せ
(正副技術委員長 会員 16 社の担当者)
- 240205 能登半島地震への応援要請に係る打合せ会
(正副理事長、技術員会担当理事、正副技術委員長)
- 230616 新潟市全市一斉地震対応訓練 事務局参加
- 230714 糸魚川市災害時応援協定団体連絡会議 (欠席)
- 230901 (一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部防災演習 事務局参加
- 令和 5 年度災害応援要請件数 64 件
- 4 技術研修会への講師派遣
北陸地方整備局、新潟県及び関係団体からの研修会講師派遣依頼に対し積極的に派遣対応しました。
- ア けんせつセミナー
230607 第 2 回けんせつセミナー2023『土質・地質調査Ⅰ（基礎編）』
技術委員会から 5 名講師を派遣
- 230614 第 2 回けんせつセミナー2023『土質・地質調査Ⅰ（応用編）』
技術委員会から 5 名講師を派遣
- イ 新潟県土木部職員研修
230703 令和 5 年度上越地域整備部職場研修

- 会員社(新協地質上越営業所)から 1 名講師派遣
- 230915 令和 5 年度新潟県土木部職員研修
「フレ研工事監督者の基礎知識(2 年目)」
技術委員会から 1 名講師派遣
- ウ インフラメンテナンス講習会
231026 令和 5 年度インフラメンテナンス講習会
技術委員会から 2 名講師派遣
- 5 対外科学技術協力
北東アジア諸国からの科学技術協力要請に応えるとともに、関連団体を
通じ技術交流を図りました。
240304 2024 年新潟県対外科学技術交流協会
技術交流実績発表会、特別講演会 参加
- 第 3 技術力の向上
- 1 研修会、講習会の開催及び開催協力
技術者のニーズの高い研修会、講習会等の開催や開催協力を通じて会員
社員の技術力等の向上に努めました。
ア 新潟県技術伝承講習会
231117 令和 5 年度 技術伝承講習会(地すべり解析コース)
参加者 6 名(申込 11 名)
講師 五十嵐前技術委員
- 231129 令和 5 年度 技術伝承講習会(軟弱地盤解析コース)
参加者 12 名(申込 14 名)
講師 樫淵技術委員
- イ 北陸技術フォーラム
開催地の新潟支部で実行委員会を組織し、目黒委員長(興和)ほか 5 名の
委員が 6 回に亘り委員会を開催し準備に当たりました。
231101 北陸技術フォーラム ‘23 技術発表会・特別講演会
技術発表会 発表者 7 名
(新潟支部 4 名、石川・富山支部各 1 名、新潟県 1 名)
参加者 74 名
特別講演会
演題 「信濃川水系における地水対策」
講師 信濃川河川事務所 流域治水課長 石田卓也 様
- 231102 北陸技術フォーラム ‘23 現地見学会
参加者 35 名
見学場所 関屋分水・天野河川防災ステーション・

北陸技術伝承プロジェクト

231205 令和5年度 北陸3県の地形地質伝承プロジェクト

参加者 83名

講師 鴨井幸彦氏(村尾技建)ほか2名

ウ 全地連技術フォーラム

230906-07 全地連「技術フォーラム2023」横浜

次年度の北陸地区での開催もあり、北陸地区から

平野理事長ほか8名が参加

240208 全地連「技術フォーラム2024」新潟 第1回合同打合せ

出席者 全地連 高橋事務局長ほか

北陸協会 平野理事長ほか

エ 建設技術報告会

240110-31 建設技術報告会

聴講者 実績 882人(申込1,023人)

けんせつフェア北陸

231004-05 「けんせつフェア北陸 in 金沢2023」

来場者 4,921人

オ 技術者倫理に関する研修会【再掲】

カ インフラ再生技術者育成新潟地域協議会

23428 令和5年度インフラ再生技術者育成新潟地域協議会 第1回幹事会

230531 令和5年度インフラ再生技術者育成新潟地域協議会 第1回協議会

キ 北陸地盤活用協議会

230622 第22回(令和5年度)北陸地盤情報活用協議会 池田技術委員長

2 関係団体、学会との協力

技術士会、地盤工学会、応用地質学会及び地すべり学会等の関係団体並びに北陸地方整備局及び新潟県が開催する研修会、講演会等について共催、後援等を行うとともに、会員社員へ参加を呼びかけました。

230714 全地連 事故防止講習会

出席 32名(北陸協会)

231013 第18回 地盤調査法講習会

(主催：(公社)地盤工学会北陸支部、後援事業)

231019-20 令和5年度 治山技術研修 (主催：新潟県農林水産部治山課)

参加者 3名

231027 令和5年度現地見学会

3 資格取得の促進

(1) 地質調査技士等の資格取得促進

地質調査技士及び地質情報管理士の資格検定試験事前講習会の開催に協力するとともに、会員社員の受講料を助成し資格取得の促進に努めました。また、地質調査技士登録更新講習会の開催に協力し、登録更新を促進しました。

230624 地質調査技士資格検定試験事前講習会

講師 技術委員、技術担当理事

230708 令和5年度地質調査技士資格検定試験

令和5年度地質情報管理士資格検定試験

運営協力 新潟協会技術委員会ほか

240111 令和5年度地質調査技士登録更新講習会(新潟会場)

受講申込者 77人(会員32人 非会員45人)

受講者 75人 欠席 1人 地震特別措置 1人

講師 新潟協会技術委員

240112 令和5年度地質調査技士登録更新講習会(石川会場)

受講申込者 94人(会員63人 非会員31人)

受講者 77人 欠席 3人 地震特別措置 14人

講師 石川協会技術委員

(2) 関連資格の取得促進

技術士資格取得講習会について会員社員の受講料を助成し、資格取得の促進に努めました。また、応用地形判読士及び地質リスクエンジニアの資格検定試験について会員社員へ案内し資格取得を促進しました。

230408 技術士第二次試験合格対策講習会(WEB)

参加者 6名へ助成

第4 担い手の確保・育成

1 教育機関と連携した取組【再掲】

教育機関の協力を得て、出前授業など年代に応じた形式により地質調査

- の目的や重要性等を伝え、将来の担い手確保に取り組みました。

・小学校での出前授業

・高等学校での地質調査実習授業 など

2 他団体と連携した取組、広報
「北陸建設会の担い手確保・育成推進協議会(新潟県部会)」の構成団体として他団体と連携し、担い手の確保・育成の取組に努めました。
また、地質調査の重要性等を業界紹介パンフ『地質エンジニアになりませんか』や協会ホームページの活用などにより地質調査業について幅広く広報しました。【再掲】
231020 令和5年度北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会(新潟県部会)
231206 令和5年度北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会

3 ワークライフバランスの促進
女性技術者や若手技術者が、「地質調査業」に魅力や働きがいを感じられる職場を目指して取組を進めました。
ア 北陸地方整備局、新潟県との意見交換会における要望【再掲】
ウ 若手・ベテラン社員合同ワークショップ
230912 「若手社員向けワークショップ」の開催
テーマ「地質調査業における多様な働き方の現状と課題」
参加者 26人(県農林水産部治山課職員参加者4名を含む)

第5 福利厚生事業の推進
会員及び会員従業員の親睦、交流を図るため会報誌を発行するとともに、各種福利厚生事業を実施しました。
ア 会報誌「地協にゅうす」の発行
四半期ごとに第181号、第182号、第183号及び第184号を発行。
イ ゴルフ大会の開催
230527 親善ゴルフ大会(中条ゴルフ倶楽部)
参加者 13名
ウ ボウリング大会の開催
240217 令和5年度ボウリング大会(ラウンドワン新潟店)
参加者 32名
エ 名刺交換会の開催
240124 令和5年度 賀詞交歓会(ホテル日航新潟)
参加者 正副理事長ほか60名
- オ ボランティア活動の実施(心肺蘇生法講習会等)
231011 令和5年度心肺蘇生法講習会(技術士センタービル1)
参加者 15名
講師 新潟市消防局中央消防署職員

カ 北陸地質調査業協会創立60周年事業への協力
相田委員長(キタック)ほか8名で構成する実行委員会を組織し、各委員が役割分担を決め、記念誌作成、記念品の選定や当日の運営に当たりました。
230928 北陸地質調査業協会創立60周年記念事業
記念講演会 15:00～16:30
講師 芝浦工業大学客員教授 (一財)建設業技術者センター理事長
谷口 博昭 様
演題 「Beyond コロナの日本創生と土木のビッグピクチャー」
記念式典 16:40～17:15
祝賀会 17:45～19:30

第6 総会、理事会、委員会等の開催状況
総会 230511
理事会 230511 第1回、第2回
230529 第3回
230830 第4回
231213 第5回
230313 第6回
正副理事長、技術員会担当理事、正副技術委員長打合せ
240205 能登半島地震への応援要請に係る打合せ
技術委員会 230418 第1回
230808 第2回
231002 第3回
240327 第4回
技術委員及びアドバイザー
240321 能登半島地震応援要請対応に係る合同会議
(参考)北陸地質調査業協会技術委員会 230714 第1回
231205 第2回
総務厚生委員会 230601 第1回
230810 第2回
230821 意見交換会部会
231122 意見交換会部会
240125 地すべり観測に係る打合せ(正副技術委員長出席)

広報委員会	230608	第 1 回	
	231109	第 2 回	
コンプライアンス委員会	230629	(委員長、担当理事打合せ)	
働き方改革推進特別委員会	230714		
その他	231020	(一社)全地連 創立 60 周年記念行事	
		会長表彰(新潟支部分)	
		平野吉彦 北陸協会理事長(㈱キタック)	
		飯沼 浩 北陸協会理事(川崎地質㈱北日本支社)	
		堀松 崇 技術者表彰(14 号該当)(㈱興和)	
	231020	(一社)新潟県測量設計業協会創立 60 周年記念行事	
	231223	新潟県土木部 90 周年記念式典	
	240104	建設関係新年交歓会 参加	
	240111	工始祭 参加	